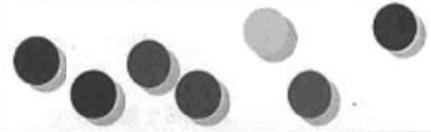


生きいき憲法

日野原重明

東京の九条の会をつなぐ



九条の会
東京連絡会



9条と宗教

奥田靖二

憲法9条を守りたいと願う人達と宗教家は、どのような連帯と、ともに行動する基盤を持っているのでしょうか。革新的立場を自認する人達の中にも、「宗教? ちよっとねえ。」と敬遠する向きがあります。宗教と憲法9条は違うところに位置づいているのでしょうか。

仏教の無量寿経の中に、「国富民安、兵才(ひょうが)軍隊や武器)無用」の一節があります。国民が安らかに暮らす国に軍隊や武器はいらないとする日本国憲法9条の考えと同じです。キリスト教でもイザヤ書に「剣を鋤に、槍を鎌に打

ち直し、国は国に向かって剣をあげず...」と記しています。ユダヤ教の教典の戒めにも「殺害してはならない」とあります。仏陀も、キリストも最も虐げられた人々の中にはいって、その人達の幸せを願って行動しました。

日本の神道は、明治政府が「国家神道」として政治的支配のために利用し、以来戦争推進のためにも使われ、悪しき印象があります。本来は私たちの暮らしをささえてくれる自然に感謝し畏敬の念を持つところから出たものです。

日本人は「信者」の自覚がないままに、初詣やお宮参りに行き、地鎮祭をし、結婚式も神社や教会でおこなう人が多く、信仰というより伝統的風習として生活に位置づいてきました。一方で、現世の不条理からの救いを求めて怪しげな新興宗教がらみの事件も後を絶ちません。「宗教はアヘン」というマルクスの言葉も後者のような、宗教が厳しい現実からの目くらましの役目を果たすべく使われてきた歴史から、宗教そのものを否定しているように誤解されました。けれども宗教は、本来人類全体の隔てない幸福と平和を希求し、心の平安をもとめる中で成立してきたものです。

憲法9条は、まともな宗教者なら、それぞれの教えに従っても矛盾せず、多くの立場の違いを超えて共同・協力を大きく広げられるものです。身近な僧侶や、牧師、神父、神主さんにも多に声をかけて欲しいと思います。

(八王子・浅川琴刀比羅神社宮司)

発行 九条の会東京連絡会 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町1-4-8松村ビル401 TEL 03-3518-4866

FAX 03-3518-4867 ホームページ www.9jo-tokyo.jp メールアドレス mail@9jo-tokyo.jp

ニュースのタイトル「生きいき憲法」は日野原重明さん(聖路加国際病院理事長)の命名・揮毫によるものです。

大震災・原発事故後の日本の行方と運動の課題

大学学習会で渡辺治氏が明示



する不安と関心が広がっている。そして、その「復興」のあり方をめぐり「2つの道」の対抗が顕在化している。3・11以前に対立していた問題が、3・11を機に激化してきている。そこで、①震災前に政治はどこまで来ていたか、②震災と原発事故はなぜ起こり深刻化したか、③3・11は日本の政治や憲法にいかなるインパクトを与えるか、④私たちの課題は何か、以上を検討する。



憲法改悪、沖縄普天間基地の移転をめぐる日米同盟強化、消費税増税をねらう動きが強められている情勢にあって、私たちはいったいどうしていくのかの問いにこたえる学習会



として期待されてきました。

この学習会では、渡辺氏の講演に先立ち、シンガー・ソングライターの横井久美子さんがギターの弾き語りで「にんげんをかえせ」などを歌い、ついで都丸哲也氏が主催者を代表して開会挨拶をしました。

「大震災・原発事故後の日本の行方と運動の課題」と題した渡辺治一橋大学名誉教授の講演（100分）の要旨は以下のとおりです。

なお、当日の参加者は250人でした。

◆はじめに

今、大震災・原発事故の衝撃、被災地だけでなく広がる日本の政治・社会の行方に対

◆震災前に民主党政権下の政治はどこまで来ていたか

対立していた「2つの道」の1つは、反構造改革と反改憲の国民要求と運動がもたらした09年政権交代の道。その結果、鳩山政権は生活保護母子加算復活など構造改革路線から逸脱し、普天間基地の国外移転や日米密約調査など日米同盟にも疑問を呈した。しかし、この「逸脱」に危機感を強めた財界と保守支配層が「財政破綻する」「日米同盟危機」と巻き返した結果、菅政権は構造改革と日米同盟路線へ復帰した。これがもう1つの道。しかも、この道はその後TPPの急浮上、消費税引上、法人税引下、民主党のこれまでの安保安衛政策をことごとく否定した新防衛大綱決定（国連決議なしの派兵、集団的自衛権容認、海外派兵恒久法容認、武器輸出三原則見直し）、大連立の合唱へと新たな段階へ入っていた。

◆震災・原発事故はなぜ起こり、深刻化したか

自民党の大企業優先の政治の下で農業や地場産業は保護

九条の会東京連絡会は、5月20日夜、東京けんせつプラザで「この国は抜本的に変えるしかない」と題した大学学習会を開きました。

3月11日の東日本大震災・大津波・東電福島第1原発事故にともなう被害者救済・復興に政治・経済が全力をあげなければならないこの時期に、

されなかった。その後の構造改革は地場産業・農業・雇用を崩壊、地方財政危機で医療・福祉・介護の削減、公務員のリストラと続いた。岩手県立釜石病院と釜石市民病院の統合(07年)は地方財政の悪化が原因であり、病床が大きく削減された。市町村合併による公共部門削減で、市町村の事務は停滞を招いてきた。この構造改革の後に震災が襲ったことから地方の被害は拡大し、復興を遅らせている。日本の原発数はアメリカ、フランスに次いで第3位だが、狭い国土に54基もあり密集度では世界一であり、壁の高さを20mから5mに引き下げるなどコストダウンや安全基準を引き下げたことが被害を招き拡大させている。

◆復興をめぐる2つの道の対抗

復興には利益誘導政治・構造改革政治からの脱却が必要である。具体的には、構造改革即時停止、市町村の再分割、介護・福祉・医療の強化、地場産業の保護、公共部門の強化、原発即時停止と代替エネルギー、生活スタイルを変えることが求められている。他方、財界や保守は、構造改革を反省するどころか復興を構造改革強行の梃子にしようとしている。4月6日、経済同友会は「東日本大震災からの復興に向けて“第2次緊急アピール”」を発表。震災からの「復興」は震災前の状況に「復旧」させることではないとして、また復興を通して「新しい日本を創生」として、①東北地域を道州制の先行モデルとする、②東北復興をモデルとして国際競争力のある経済圏を創生する、③復興計画は財政健全化の道筋の中で描かなければならず

「税制・社会保障の一体改革」を実行する、④休止炉の早期再開、を打ち出した。TPP、道州制、法人税引下、消費税増税、構造改革徹底そして原発維持が彼らの「復興」の中身。農業と漁業を株式会社化し、農民と漁民をその社員とすることを狙っている。また、震災・原発事故を機に日米共同作戦、トモダチ作戦、沖縄海兵隊投入、核部隊や無人偵察機を飛ばして北朝鮮との核戦争を想定した予行演習を行うなど、日米同盟強化の路線を進めている。

これらを後押ししているのがマスコミ。3・19朝日社説は、①与野党はこの危機を克服するため大局的な判断に立って力を合わせねばならない、②子ども手当・農家の戸別所得保障などのマニフェスト予算は全面的に見直すべきである、③被災地復興にできるだけ多くの財源を回すためにも削れるものは大胆に削るべきだ、と福祉型財政支出一掃を主張している。3・22読売社説は、「多くの国が日本を支援する中、米国の支援は質・量ともに突出している」と日米強化路線を賞賛。そして、「救国政権」の名の下の大連立論が、消費税増税・社会保障削減・TPP加入・普天間・議員定数削減そして改憲復活を加速化させようとしている。

◆私たちの課題

以上、震災と原発事故を機に「2つの道」がますます激化しているが、そこでの課題は3つある。1つは、当面する緊急対策を打ち出し、大連立を阻むこと。被災復興の基本原則は地元の意思尊重、財源は国が保障、そして原発の緊急停止。その上で復興のあり方について国民的議論をし

ていく必要がある。2つは、火事場泥棒的な構造改革・軍事大国化・改憲策動を許さないこと。消費税・TPP・原発反対は復興のための3本柱だから、それらを許さない国民的大運動を。TPPは農協と日本医師会が反対しており阻止の可能性はある。3つは、3・11後の復興をめぐり構造改革でも日米同盟でもない「新しい福祉国家」の対案を示すこと。対案の柱は6点。①大震災での非正規切り・解雇の横行から雇用保障(期限のさだめのない雇用、最低生活費を超える最低賃金、失業補償)・社会保障(学校、医療、保育、介護など不可欠の社会サービスの無料化)の構築、②消費税を引き上げなくてもよい安定財源の確保(大企業の法人税率引上と社会保障税負担増)、③大企業本位でない地域と中小企業が中心の経済成長政策・地元にお金が落ちる復興、④脱原発・原発にかわるエネルギー政策、⑤福祉国家型の地方自治体の実現、⑥日米安保のない日本の安全とアジアの平和、憲法9条をいかす日本。今回、自衛隊は評価を国民から受けているが、それは銃を捨てたから。これはイラク派兵と決定的に違う。9条が生きる日本への展望を持った。

◆むすびに代えて

歴史的転換点としての3・11。運動が政権交代を生んだ、巻き返しが菅政権をつくった、震災を機にどちらにいくかが問われている。震災と原発は震災前の私たちの進路をめぐる「2つの道」の対決をいっそう明確化、顕在化させた。復興をめぐる対抗の焦点としてのTPP、消費税、原発政策そして憲法。

(島田修一記)

地域から



原発事故被災者を迎え “安全神話” 破綻の講演

井の頭線沿線九条の会 浜田山

東日本大震災と福島原発事故によって、人々は生存権を奪われました。多くの方が生命を落とし行方不明となり、住む家や土地を失い、食べ物と電気・ガス・水道は断たれ、原発の爆発と放射能の恐怖におののきました。憲法前文が謳う「われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」宣言は危機に瀕しています。

井の頭線沿線九条の会 浜田山（杉並区）は5月14日（土）、「特集 “安全神話” の破綻 福島原発で何が起きたのか？何が起きつつあるのか？」と題し、講演会を開きました。会場の浜田山会館集会室には定員の60人を上回る89人の方々が詰めかけ、立ち見も出る中で、会が始まりました。

最初に挨拶に立った被災地・福島の福島県九条の会代表、吉原泰助さんは九条の会と反原発運動の協同を訴えました。続いて上映された京大原子力実験所の小出裕章さん解説のDVDは原発と原爆の共通性、その危険、今回の事故の骨格を分かりやすく示しました。

原発事故の20*。圏内で警戒区域から埼玉県・三郷市に避難した南相馬市の小高九条の会事務局長・中里範忠さんも会場に駆けつけ、原発事故被災地からの報告を行いました。小高は映画「日本の青空」の主人公 憲法学者・鈴木安蔵の生地。九条の会 浜田山

は鈴木安蔵の憲法への貢献についての講演会を開いたことがあります（講師：金子勝立 正大学教授 07年6月）。

中里さんは南相馬市の方々が全国に避難し、九条の会のメンバーも散り散りになったこと、携帯メールを活用して連絡網を再びつくりあげ、避難所向けに九条の会ニュース

を発行していること、などを報告し、会場は感動に包まれました。「小高九条の会復興カンパ」が、すぐさま呼びかけられ、4万8,863円が、大拍手の中で中里さんに手渡されました。

この模様は中里さんが九条の会オフィシャルサイトのメールマガジン5月25日号に寄稿し全国に発信されました。

地震や原発事故に負けてはいられません。わたしたちは、九条の会の連帯の輪がさらに広がることを願っています。

{6月1日・島村矩弘}

未来世代へのこす『決意』 込め 7周年の九条の会講演会

九条の会7周年講演会が6月4日（土）午後、日比谷公会堂で開かれ、会場いっぱいの2000人が呼びかけ人4氏の講演に耳を傾け、新たな希望を抱くものとなった。

3・11東日本大震災と福島第一原子力発電所事故でこの国の行方をめぐって根本から問われているとき、「九条の会」のありようを確かめ合うための講演会となった。

「未来世代に残すもの一私たちは何を『決意』したか」のタイトルで、まず、壇上に鶴見俊輔さん（哲学者）が立ち、広島と長崎に原爆を投下した米国の行為は科学を悪用しないというギリシャ以来の伝統を断ち切るものだったと指摘し、「9条はなんらかの行動と態度表明によって裏付ける方がよい」と述べた。

続いて澤地久枝さん（作家）は、「3月11日の揺れのなかで最初に考えたのは、すべての原発を止める意思表示をすることだった」と述べ、九条の会呼びかけ人の9氏のうち亡くなられた3氏を偲びながら、7500の草の根の会がさらにさまざまな小さな会と力を寄せ合って憲法を

よりどころに「世直し」をすすめよう。希望を持ってと呼びかけた。

このあと、松野迅さんのパイオリン演奏（伴奏ピアノ・風呂本佳苗さん）を楽しんだ。

奥平康弘さん（憲法研究者）は、「9条の戦力不保持規定のあいまいな解釈で自衛隊や核兵器の保持さえ容認されてきた。いま、原発事故のなかで、核兵器の禁止を明確にすべきとき」と述べた。

最後に立った大江健三郎さん（作家）は「1954年、アメリカのビキニ環礁での水爆実験で第五福竜丸が被曝し、原水爆禁止運動が始まったことを振り返りながら、その翌年に原子力基本法が成立したことに思いをいたし、いま人びとが福島原発事故で死の恐怖に脅かされているとき、平和を求めて生活していく『決意』を、憲法前文の「決意」と重ねて結んだ。

11月19日に全国交流集会開催

終わりに、小森陽一事務局長が、11月19日に第4回全国交流集会を開催することを発表。「現在の重大な状況のなかで、全国の『九条の会』が3年ぶりに一堂に会し、互いに学びあいたい」と呼びかけた。

地域から



「西片町教会・九条の会」の活動の特徴と公演会のおさそい

石川雅子



1967年3月、「戦責告白」(第2次大戦下における日本基督教団の責任についての告白)が出たのは、日本キリスト教史で、大きな出来事でした。

「西片町教会」も、日本基督教団に属しているプロテスタントの教会です。平和の福音を信じる私たちが、本来、祖国の歩みに対し、正しい判断をすべきなのに、日本軍の侵略戦争を是認し、結果的には支持してきたのです。

その使命に対する不信と怠慢との罪を痛感し、神と人びとの前に、懺悔(ざんげ)を国内外に発したのが「戦責告白」です。それを表明した牧師が、西片町教会の先々代の牧師でした。そして私たち信徒に、アジアとの友好関係改善の必要性を説かれました。その実現の一つとして、韓国「ソウルチェイル教会との姉妹関係締結」が、1975年4月になされました。その交流は、それ以来今日(こんにち)に至るまで、36年間つづいています。

その交流の歴史を“東京9条まつり”(2010・11・13 大田区産業プラザPIO)で、展示発表しました。皆さまに見て頂き、大変嬉しく思っています。

このたび、思いがけない東北大地震、巨大津波、福島原発事故により被災された人びと、町や村、地域社会の一日も早い復興を願っています。それと共に、世界の多くの国々からいただいた救援物資や義捐金のことを知り、とても感激しました。

とくに戦前戦中、我が国が

侵略し、多大な被害や苦痛を与えてしまった中国や韓国からも、あたたかいご支援を寄せられていることは、日本人として限らない感謝でありました。

このような隣国の人びとの思いや行動に接して、この大災害からの復興が、今までと同じものに戻すという「復旧」ではなく、今度こそ「平和憲法九条」を守り、内外の一人一人の「いのち」を大切にすることを望み、そのためにも、過去の戦争での、わが国の過ちを知ることから始めようと思ひ立ち、7月8日「哀しみの南京」の公演を計画いたしました。

この舞台は、渡辺義治・横井量子ご夫妻の作、構成、演出、美術、出演によるもので、「戦後、私の家族の中にあつた闇—戦争の加害の罪への私たち自身の告白、懺悔」との思いから始められた、すべて実話に基づく作品です。こうした作品を「戦責告白」を出した西片町教会で公演されることは、意義深いと思います。

多くの皆さまに、ぜひご覧いただきたいと思ひます。ど

南京大虐殺(1937年)70周年記念追悼公演【中国・上海市・南京市】[アムカ・ニュー・シアター]、2010年、秋、アムカ【ヤノハシ・フナシラ・フナシラ・フナシラ】公演へ

ノンフィクション・ステージ

地獄のDECEMBER(12月)

- 哀しみの南京 -

プロローグ・2篇11幕・エピソード

この舞台は、実話です



戦争の加害の罪...



本多勝一(ジャーナリスト)

舞台化するのに最も難しい題材「南京大虐殺」を、多くの知恵、みごころに磨きあげたことに驚いた。全国、海外での公演成功を心より祈ります。

「戦後、私の家族の中にあつた闇—戦争の加害の罪への私達自身の告白であり懺悔なのです」

IMAGINE21・渡辺義治 横井量子 作・構成・演出・美術・出演

協力・推薦 吉田 裕 (一橋大学教授) 笠原十九司 (国文学研究館教授)

日 時 2011年7月8日(金) 午後7時(即席 午後6時30分)
会 場 西片町教会・会堂
【東京都文京区西片2-18-1B】
前売券 2500円 (当日 2500円)
連絡先 西片町教会・9条の会 210-2616-6233(石川) 3813-1085(中村)



【バス交通案内】
都バス、「東大橋駅前」(西川土庫前)第一乗場 丸の内線北口
(新 込 駅)→林森園駅前 下車徒歩5分

うぞ知人友人もお誘いください。

なお、ご観劇ご希望の方は、下記連絡先にお電話して下さい。

◆連絡先 090-2626-6393(石川) 03-3813-1085(中村)

◆前売り：2000円 ◆当 日：2500円

当日、受付にチケットを用意して、お待ちしております。



第6回懇談会の記録 東京9条まつりの成功を草の根の会の発展 にどうつなげていくかで懇談(続Ⅲ)

去る4月25日(月)18時～20時20分、エデュカス東京・地下会議室にて、第6回懇談会が開かれ、今後2年間の取り組みの大枠について話し合いました。参加者は30人でした。

まず最初に事務局から次の4点について報告がなされました。

(1) 5/20 大学学習会の成功にむけて。いま日本は未曾有の非常事態にある。このどさくさにまぎれて改憲・増税などの策動もある。この非常事態において生命を守り、被災者を主体とした復興に道をつけることこそ憲法を守り活かすことになる。こうした今の情勢のあり方を学び議論していくことが九条の会運動にとって大切です。この学習会成功のために「東京9条まつり」で協力関係になった様々な団体に協力要請してきましたが、本当の主体は九条の会であるはず。各地域の会でも積極的に参加者を広げてもらいたい。

(2) 大交流会と大イベントについて。前回の懇談会で2012年6月に大交流会、2013年秋に大イベントをやるという提起をし、それぞれ持ち帰って協議をしてもらうことになった。今日はその結果を出し合って討論したい。事務局としては次回(5月30日)に実行委員会を立ちあげたいと考えているが、いかがでしょうか。

(3) 5.3 憲法集会について。5月3日の憲法集会には積極的に参加しましょう。

(4) 人事・財政問題につい

て。事務局の専従者が退任されるので代替わりの人を探しています。来月には新しい方を発表します。また財政はひきつづき逼迫しています。基本は年額賛同金を増やすことです。ぜひまわりに広げて下さい。

以上の報告を受けて自由に議論しました。主に以下のような意見が出されました。

* 5/20の大学集会はいま本当に求められている企画だ。必ず成功させよう。

* 大交流会について持ち帰ると言ったが、自分たちの区では明後日、事務局会議があるので、まだ話し合っていない。
* 私の区でも明日話し合うことになっている。

* では、各地域の持ち帰り協議は引き続きしてもらうことにして、どれぐらいの参加者になるかは不明だけど、実行委員会を5月30日に立ち上げる方向で準備を進めていいでしょうか。

* それは構わないが、やはり多くの地域から参加者ができるようにしたい。

* 西方町教会九条の会ですが、南京大虐殺をテーマにした2人芝居「哀しみの南京」の上演運動をしている。戦争の加害の罪を考える企画です。ぜひみなさんも来て下さい。
* 私の地域でも橋家扇三さんの公演を企画している。ぜひよろしく。
* あきる野九条の会が所蔵していた「戦争柄の着物」が小学館が出版する『ジュニア日本の歴史』第6巻でカラーグラビアで紹介されました。

以上の討論を経て、全体で5月30日には東京大交流会(仮称)の第1回実行委員会を開催することを決定しました。

なお、この討論会の中で出席者の一人の方(九条の会に関わっていない方で「自主憲法制定に賛成」の立場の方)から東京連絡会に「憲法改定の是非をめぐる様々な立場から討論する場を設定してもらえないか」との要望が出されました。この要望については、「九条の会は憲法9条を守ることを一致点とした集まりなので、そこが“様々な立場から議論する場を設定する”ことは考えにくい。そのような場を求めておられるなら他の団体に要請された方がいい」としてお断りしました。

九条の会東京大交流会 (仮)第2回実行委員会

とき 6月20日(月)18時～
ところ けんせつプラザ東京

【第1部】

●学習

「侵略戦争賛美の教科書を子どもたちに渡さない」(仮題)

問題提起者：石山久男さん

(歴史教育者協議会元委

員長、子どもと教科書問題全国ネット21常任運営委員)

【第2部】

*情勢と活動交流

*九条の会東京大交流会の開催時期と場所について



来年6月開催予定の九条の会東京大交流会(仮)成功にむけて 第1回実行委員会の記録



去る5月30日(月)18時~20時20分、豊島区民センターで「九条の会東京大交流会(仮称)」の第1回実行委員会を開催しました。参加者は35人でした。

開会にあたって、事務局の専従者が交代したので、退任者と新任者のそれぞれからあいさつを頂きました。続いて事務局から次のような提起がありました。「今日は、来年6月に開催する大交流会の第1回実行委員会です。今日はまだ具体化する段階ではないが、徐々にイメージを積み上げる議論を開始したい。そういうことですので、5/20の大学習会(講師:渡辺治氏)の感想なども含めて、各地の会の状況を出してください。」

この提起を受けて、自由に意見交換しました。

◆練馬です。3月19日に肥田舜太郎講演会、4月24日には映画上映会、5月9日には宣伝行動を行い、これから6月11日には脱原発100万

人行動に参加、6月18日にはアーサー・ビナードさんの講演会に取り組むことになっている。脱原発の取り組みについては「九条の会がやるべきか」との声もあるが、むしろ先頭に立つべきだと考えて取り組んでいる。原発事故に対する市民の関心は高い。
*目黒です。6月24日に「“わ”をひろげよう平和のうた・交響2011」を開催すべく準備を進めています。九条の会は主催ではなく協力団体です。

◆杉並です。5月20日の大学習会は参加者から「力になった」が多数寄せられた。震災や原発問題は「九条の会として」となるとやはり議論が分かれる。杉並では革新懇の総会で何か取り組もうという話になり、沢山の団体の共催でパネルディスカッションをやろうといま準備を進めている。パネラーを探しているので、良い人がいたら紹介してほしい。

◆江北です。5月20日の大学習会はとてもよく理解でき

た。このDVDを普及するというのはとても良いことだ。情勢が変化するたびにああいう学習会をやるべきだと思う。足立区は東京でも4番目に放射線濃度が高いと聞いている。これを知らせる活動が必要だ。救援活動とあわせて取り組みたい。

◆事務局メンバーです。5/20の大学習会のDVDの話が出たので補足します。今回はUstreamで講演の生中継をしました。エジプト革命でもfacebookやtwitterが使われたが、日本の運動もそうしたネットのツールに通じる必要がある。今後は「jccast on Ustream」という名前で企画をどんどん中継放送していきたい。これは大手マスメディアに対する挑戦でもある。

◆事務局メンバーです。3点、発言します。ひとつは今のDVDですが、6月10日頃発売で800円の予定です。ふたつめは6月4日の九条の会講演会についてですが、要員の要請が来ているので、可能は人はぜひ手伝って下さい。みつつめは来年6月の大交流会についてですが、来月の実行委員会では場所・日程を決めたいと思う。「自分の区・市ではどうか」ということをそれぞれ持ち帰って話し合っしてほしい。また東京全体でひとつの交流会なのか、いくつかのブロックにわかれて交流するのか、テーマ別分散会をどうするか、なども来月には話し合いますので、考えておいてください。今日配った資料を見ていただければわかるように3月11日以降に改憲への策動が加速している。こうした火事場泥棒的な動きを絶対許すわけにはいかない。運動を広げていきましょう。

◆大田です。私たちのところでも被災地救援チャリティの

イベントを準備しています。「この情勢に九条なんか…」という声が出ることで自体が危険。われわれは決して萎縮したらだめだ。その意味でも大交流会については早く具体化した方がよいと思う。

◆事務局メンバーです。いま出されたように萎縮したら危ない情勢です。改憲勢力はこの国難を改憲に利用しようとしている。九条の会アピールには核兵器の問題も含まれている。原発も核兵器と無関係ではない。たえず学ぶことで、そういう連関を明らかにしていくことが大切。この実行委員会でも毎回学習会を続けよう。

◆事務局メンバーです。その震災・原発と九条とを結びつける役割こそ九条の会に求められていることですね。

◆下町人間です。九条をお題目のように唱えるだけでなく、実際に東アジアに平和と信頼の関係を築こうということで8月には韓国に行く。また

地元では映画上映会も続けてきた。広島、長崎、東京大空襲の火をともし取り組みも継続してきた。8月6日には反核平和音楽祭を、また8月15日には第二次世界大戦の教訓を語る会を予定している。今はひっこんでいる時ではないと思って取り組んでいる。

◆事務局メンバーです。大交流会について問題提起したい。一方では「三多摩も23区の経験を聞きたい」という声を聞き、その逆もそうだろうから東京全体で交流するのがいいと思うが、他方で昨年の大田区での「まつり」にあきる野市からはバス1台借りて数十人というのが精一杯だっ

たということも事実。この二つの問題をどう打開したらいいのか、ぜひみなさんも考えておいてほしい。

◆江北です。吉井英勝さんの講演会を聞いたが、湯川秀樹にあこがれて原子力を学んだという話があった。若い人にも聞いてもらえるようにするには、現実の問題を学問の志と結びつけた話がいいのかなと思った。

◆事務局メンバーです。被災者救援の話がたくさんでたけど、被災地に物資を持っていく共同プロジェクトを取り組むのも面白いのではないかな。東北の九条の会と連絡を取れば十分可能ですよ。

九条の会東京大交流会 実行委員会(仮)の 年内開催予定

6月20日(月)18時～

けんせつプラザ東京

8月1日(月)18時～

けんせつプラザ東京

8月29日(月)18時～

けんせつプラザ東京

9月26日(月)18時～

10月31日(月)18時～

11月28日(月)18時～

12月19日(月)18時～

6月20日の実行委員会では、開催日・会場など基本項目について話し合います。

各九条の会のとりくみ 案内

- 9条の会・杉並連絡会
ベシヤワール会 中村哲医師の講演会
6月10日(金)18時20分開場。杉並公会堂。1000円。
主催：中村哲医師講演実行委員会
- 新宿女性九条の会
第22回
「青い空は青いままで」
小森香子さんの講演・朗読
6月12日(日)14時開会。
新宿区若松地域センター。
- マスコミ関連九条の会
福島原発事故の行方、原発・エネルギー政策をどうするか。
吉井英勝さん(衆議院議員、日本共産党)
6月13日(日)18時30分開会。
文京区民センター。
資料代：500円。
- マスコミ関連九条の会
大震災・津波・福島原発被害

- 生活再建・復興をどうする。
(JCJ 6月集会コラボ)
塩崎賢明さん(神戸大学大学院教授)
6月17日(金)18時30分開会。
文京区民センター。
資料代500円。
主催：MIC, JCJ, 自由法曹団、マスコミ関連九条の会4団体。
- ねりま九条の会
6周年記念講演会
6月18日(土)13時30分開会
練馬文化センター小ホール
ヒロシマ・ナガサキ・フクシマ
日本列島のこれから
お話 詩人アーサー・ビナードさん
一般 800円・高校生500円
3392-1732(小岩昌子)他
- 調布「憲法のひろば」
第63回例会
「ボクの教科書は、どうやって選ぶの？」
お話：石山久男さん、綿貴公平さん。
6月18日(土)13時30分開会。
たづくり8F。300円。

- 東京外語大九条の会
伊藤千尋さん講演会
6月18日(土)14時30分開会
東京外語大学研究棟115番。
(西武多摩線「多摩」駅下車・徒歩5分)
- 目黒「九条の会」ネットワーク
“わ”をひろげよう平和のうた・交響2011
6月24日(金)14時30分開会。
めぐろパーシモンホール大ホール。
999円。
主催：目黒文化フォーラム。
後援：目黒区。
- 新宿 落合・中井九条の会
田中優子さんに聞く(未来のための江戸学、カムイ伝講義、布のちから・江戸から現代)
6月26日(日)18時30分開演。
落合第一地域センター。
- 東京法律事務所九条の会
福島第一原発で起こっていること—今、原発・エネルギー政策を考える
館野淳さん(元・中央大学教授)
7月2日(土)14時開会。
プラザエフ・8F